

育種価を活用した指導体制の確立について	
[要約] 肉用牛のデータ（子牛市場成績・枝肉成績・育種価）を用いた現場指導に活用できるデータベースを構築	
畜産試験場 肉用牛改良担当	連絡先 0974-76-1217

[背景・ねらい]

当場では、子牛市場成績を基に枝肉成績を収集し種雄牛及び繁殖雌牛の育種価の算出を行っています。育種価は、種雄牛の造成の一手法として活用する一方、繁殖雌牛群の遺伝的能力向上のための一資料として地域及び農家の指導に供されていますが、その活用については十分とは言えません。そこで、関係機関において当場にて管理する母牛血統情報、子牛市場成績、枝肉成績、育種価等を用いて現場指導に活用できるデータベースを作成しました。

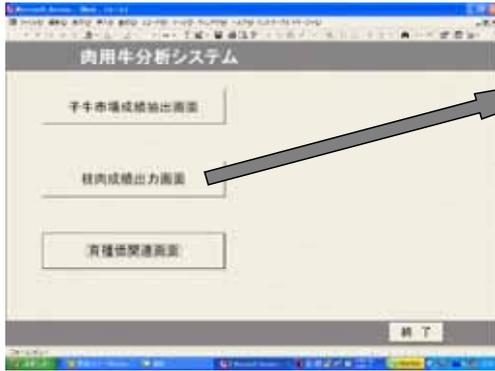
[成果の概要]

当場のサーバーにデータフォルダを設け、そのフォルダに関係機関の特定パソコンからのアクセス権限を与えると共に、そのデータをデータベースソフト（MSAccess）を活用して、関係機関が活用に容易な表計算ソフト（MSExcel）形式で出力するデータベースを作成しました。メイン画面に、子牛市場成績抽出画面・枝肉成績出力画面・育種価関連画面を設け、それぞれをクリックする事で次の画面へ進みます。



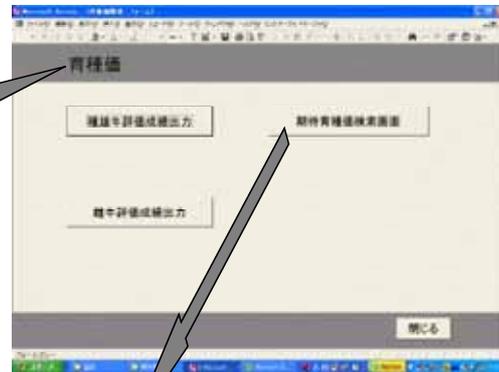
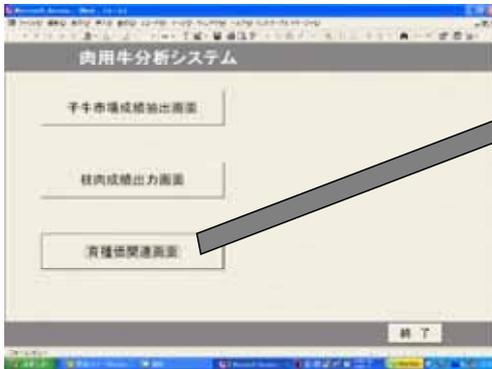
1. 子牛市場成績抽出

- 1) 子牛市場名簿と同様の内容で、県下全域・開催市場別・普及センター別に出力が出来るように設定
- 2) 子牛市場種雄牛別成績出力画面
 - 開催市場別・旧市町村別・JA別に出力が出来るように設定
 - 年次別の子牛市場成績（頭数・日齢・体重・価格・DG・1日あたり増加額）の推移を種雄牛別に出力が出来るように設定
- 3) 子牛市場年次別成績出力画面
 - 子牛市場の年次別の推移を県下全域・市場毎・旧市町村別・普及センター別に出力が出来るように設定



2. 枝肉成績出力

- 1) 必要なデータをと畜年を基準に出力が出来るように設定
- 2) 種雄牛毎の肥育成績を集計し出力できるように設定 (10頭以上の肥育成績を持つ種雄牛)



3. 育種価関連画面

- 1) 種雄牛の評価成績を出力出来るように設定 (全データを出力)
- 2) 雌牛の評価成績を出力出来るように設定 (パラメーターにより抽出条件を雌牛年齢で設定)
- 3) 産子の期待育種価を検索できるように設定

検索を行う雌牛の登録番号を入力する事で、その

雌牛の1代祖及び2代祖の種雄牛名号が表示されると共に、育種価情報 (ETA・順位) が表示される。種雄牛については、交配された種雄牛または、交配予定の種雄牛の登録番号を入力する事で、その種雄牛の育種価情報 (EPD・順位) が表示される。その下には、両者の育種価を足した産子の期待育種価及び期待枝肉成績が表示されます。

登録番号	名	種雄牛	雌牛	1代祖	2代祖
1111	1111	1111	1111	1111	1111
1112	1112	1112	1112	1112	1112
1113	1113	1113	1113	1113	1113
1114	1114	1114	1114	1114	1114
1115	1115	1115	1115	1115	1115

[普及対象]

県下一円

[成果の活用面・留意点]

このシステムを活用するにあたりMSAccessソフトのインストールが必要になります。